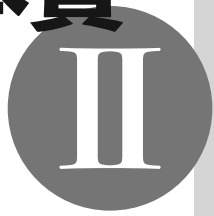


特集 2次試験 失敗と成功の本質



2次試験はミスを連発しなければ受かる！
本特集では、平成28～29年度の合格者が実体験した
数々の「失敗パターン」と、それを回避し成功した実例をご紹介します。
それぞれの失敗と成功の本質を、受験の女王ティアラが徹底分析する第2弾。

【監修】つだ まどか TAC中小企業診断士講座専任講師/中小企業診断士

プロローグ
**失敗経験から学ぶことこそが
合格への最短ルート**
—本試験における「失敗」パターンを「成功」につなげる
つだ まどか

失敗 ①
**過去問の活用の仕方が
不十分だった**
—徹底分析で答案作成プロセスを確立
伊藤 伸幸

失敗 ②
**与件・設問文に沿った
解答が書けなかった**
—合格者の答案分析で軌道修正
松崎 麻貴

失敗 ③
**問われたことに
正しく答えられていなかった**
—1次知識のチャート化で得点要素の漏れを防ぐ
秀田 好章

失敗 ④
**時間内に
解答を書き切れなかった**
—解答の順序と時間配分を戦略的に決める
狩野 昭子

失敗 ⑤
**苦手な事例Ⅳの
克服にこだわりすぎた**
—他の事例でカバーして総得点を底上げする
横井 ゆきえ

失敗 ⑥
全科目での合格点を意識しすぎた
—得意の事例Ⅳで一点突破する
南 肇之

エピソード
**「失敗」を回避するための
対策集 2018年版**
—失敗パターン18選
つだ まどか



特集 2次試験 失敗と成功の本質 II

プロローグ

失敗経験から学ぶことこそが 合格への最短ルート

—本試験における「失敗」パターンを「成功」につなげる

つだ まどか
TAC中小企業診断士講座専任講師/中小企業診断士



1 本特集の監修にあたって

私は、本誌の2017年9月号にて、「2次試験
失敗と成功の本質」を監修・執筆しました。資格
学校のTACで講師を務めていることもあり、受
講生を含む非常に多くの読者から「読んで良かつ
た」、「とても役立つ」という嬉しい声をいただき
ました。

私自身、平成19年度の2次試験で「答案作成プ
ロセス不備による事例Ⅰでのタイムマネジメント
ミス」という失敗を経験しています。その失敗を
教訓とし、翌年に満を辞して合格した経験を持っ
ていることから企画した特集でした。

加えて、合格の仕方にもさまざまなパターンが
あります。

- ・短期間で適切な対応をし、一発合格を勝ち取った者
- ・さまざまなやり方を取り入れて試行錯誤した結果、ようやく合格した者
- ・試験直前まで悩み続けたものの、最後には自分で決めたやり方を貫き通して合格した者
- ・不安なまま受験し、受かった気はしなかったものの、蓋を開けてみれば合格していた者
- ・自分の実力に見合った戦略を立て、それを実行し、狙い通りに合格した者

TAC生のみならず、他校出身者や独学者も含めたあらゆるバックボーンを持つ合格者たちと接する中で、「彼らの経験やノウハウを受験生に伝えることで、合格につながるヒントが与えられるはず」、そう考え、企画を実現させました。

読者の要望を受けて、「2次試験 失敗と成功の本質II」は、昨年より1ヵ月前倒した8月号にて、お届けすることとなりました。

平成28年度・29年度合格者6名の失敗経験に基づいたノウハウは、読者にとって有用な受験攻略ガイドとなるでしょう。私が自信をもっておすすめします！

2 失敗経験ゼロの合格者はいない

ここでは、2次試験における失敗の定義を「本試験・模試・演習において、4科目の総得点で合格点の240点とかけ離れた結果を出すこと」とします。

もちろん、本試験での不合格経験も含まれますから、2次試験を2回以上受験した人は、全員が失敗経験者です。2次試験は未受験だったとしても、模試や演習で何らかの失敗経験をしている人がほとんどです（私の知る限り、全員と言っても過言ではありません）。